



令和7年3月25日

令和6年度学術情報基盤実態調査の結果を公表します

—大学における教育研究活動を支える大学図書館及び
コンピュータ・ネットワーク環境の現状について—

文部科学省では、国公立大学の大学図書館やコンピュータ・ネットワーク環境の現状を明らかにし、その改善・充実への基礎資料とするため、平成17年度から学術情報基盤実態調査を毎年実施しています。

このほど、令和6年度の調査結果を取りまとめましたので、お知らせします。

【調査結果の主なポイント】

(大学図書館編)

- 令和5年度の図書館資料費は748億円であり、前年度より30億円増加。そのうち、紙媒体の資料（図書と雑誌の合計）に係る経費は210億円であり、前年度より11億円減少した。また、電子媒体の資料（電子ジャーナルと電子書籍の合計）に係る経費は414億円であり、前年度より36億円増加した。
- オープンアクセスポリシー（自大学の研究成果等のコンテンツを、オープンアクセスにすることについて定め、明文化した方針）を策定している大学は215大学（26.3%）となり、前年度より44大学増加した。

(コンピュータ及びネットワーク編)

- 学内ネットワーク（学内LAN）を有する816大学のうち、通信速度10Gbps以上の回線を整備している大学は388大学（47.5%）となり、前年度より23大学増加。また、対外接続を行っている814大学のうち、通信速度10Gbps以上の回線を整備している大学は365大学（44.8%）となり、前年度より31大学増加した。
- 研究データポリシー（研究データの管理と利活用について、組織として策定した方針）を策定している大学は258大学（31.6%）となり、前年度より47大学増加した。

<担当> 研究振興局参事官（情報担当）付

参事官補佐 吉田 雄介（内線4282）

大学図書館係 主任 影山 啓太（内線5007、4428）

学術情報係長 西村 佳高（内線4281、4080）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-4428（直通）

令和6年度「学術情報基盤実態調査」について（概要）

1 調査の概要

| |
|---|
| <p>目的： 国公立大学の学術情報基盤（大学図書館、コンピュータ及びネットワーク等）の現状を明らかにし、その改善・充実のための基礎資料とする。</p> <p>対象： 国公立大学計816大学（国立86、公立101、私立629）（回答率100%）。</p> <p>方法： インターネットを利用したオンライン調査システムにより回答。</p> <p>基準日： 図書館経費、蔵書数等は令和6年3月31日、学内LAN等は令和6年5月1日。</p> |
|---|

2 調査結果の主な内容

《大学図書館編》

（1）図書館資料費及び図書館運営費

令和5年度の図書館資料費は748億円であり、前年度より30億円（4.1%）増加した。また、図書館運営費（人件費等を含めたもの）は765億円であり、前年度より19億円（2.6%）増加した。【3頁】

（2）図書館資料費の内訳

令和5年度の図書館資料費のうち、紙媒体の資料（図書と雑誌の合計）に係る経費は210億円であり、前年度より11億円（4.8%）減少した。また、電子媒体の資料（電子ジャーナルと電子書籍の合計）に係る経費は414億円であり、前年度より36億円（9.5%）増加した。【4頁】

（3）電子ジャーナル経費と利用可能タイトル数

令和5年度の電子ジャーナルに係る経費は390億円であり、前年度より36億円（10.2%）増加した。また、大学図書館で閲覧可能な国外の出版社から購入した電子ジャーナルタイトル数は186万タイトルであり、前年度より5万タイトル（2.8%）増加した。アグリゲータ（複数の出版社が刊行する電子ジャーナルをまとめて提供する仲介者）をはじめとした国外の出版社以外（その他 国外）から購入した電子ジャーナルタイトル数は466万タイトルであり、前年度より14万タイトル（3.0%）増加した。【5頁】

（4）電子書籍経費と利用可能タイトル数

令和5年度の電子書籍に係る経費は24億円であり、前年度と同等であった（0.3%増加）。また、大学図書館で閲覧可能な電子書籍のタイトル数は1,247万タイトルであり、前年度より90万タイトル（7.8%）増加した。そのうち、国内の出版社から購入した電子書籍タイトル数は184万タイトルであり、前年度より40万タイトル（28.1%）

増加した。また、国外の出版社から購入した電子書籍タイトル数は1,063万タイトルであり、前年度より50万タイトル（4.9%）増加した。【6頁】

（5）オープンアクセスポリシーの策定状況

オープンアクセスポリシー（自大学の研究成果等のコンテンツを、オープンアクセスにすることについて定め、明文化した方針）を策定している大学は215大学（26.3%）であった。【7頁】

《コンピュータ及びネットワーク編》

（1）学内ネットワーク（学内LAN）の整備

学内ネットワーク（学内LAN）を有する816大学のうち、通信速度10Gbps以上の回線を整備している大学は388大学（47.5%）である。また、対外接続を行っている814大学のうち、通信速度10Gbps以上の回線を整備している大学は365大学（44.8%）である。【8頁】

（2）クラウドの運用状況

情報システムをクラウド化（全部または一部を学内の情報センター等または学外の施設に集約・共有化し、効率的に運用）している大学は785大学（96.2%）である。【9、10頁】

（3）情報リテラシー教育の状況

情報リテラシー教育を実施している大学は792大学（97.1%）であり、そのうち、全学生を対象に実施している大学において、「情報セキュリティ」、「倫理・マナー」を取り上げている大学は、それぞれ581大学（73.4%）、600大学（75.8%）である。【11、12頁】

（4）研究データポリシーの策定状況

研究データポリシー（研究データの管理と利活用について、組織として策定した方針）策定済みの大学は258大学（31.6%）であった。【13頁】

※ 本調査結果の全体は、文部科学省ホームページに掲載されます。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/1266792.htm

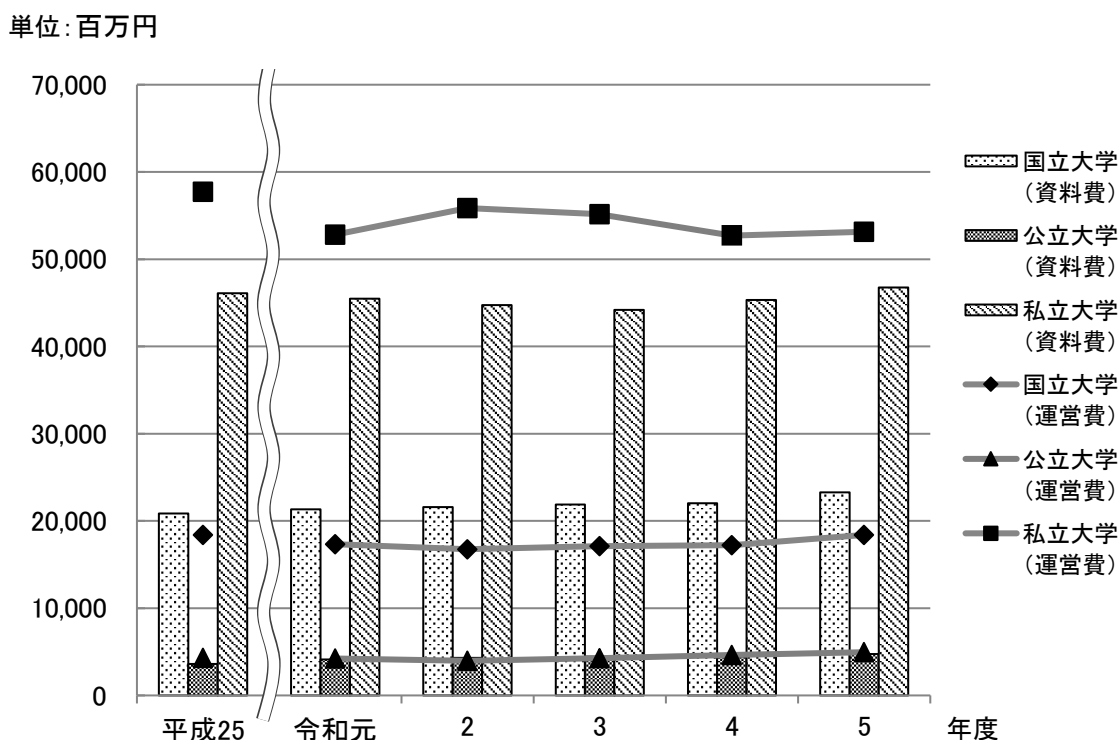
※ 記載した数値は、四捨五入している場合があります。以降の表において、内訳の数の合計が、合計欄と一致しない場合があります。

《大学図書館編》

1. 図書館資料費及び図書館運営費(令和5年度実績)

- 令和5年度の図書館資料費は748億円であり、前年度より30億円(4.1%)増加した。
- 図書館運営費(人件費等を含めたもの)は765億円であり、前年度より19億円(2.6%)増加した。

・ 図書館資料費及び図書館運営費の推移(国公立大学別)



・ 図書館資料費総額(棒グラフ)

単位:百万円

| 年度 | 平成25 | 令和元 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 国立大学 | 20,844 | 21,345 | 21,574 | 21,888 | 22,031 | 23,268 |
| 公立大学 | 3,622 | 4,108 | 4,319 | 4,459 | 4,448 | 4,744 |
| 私立大学 | 46,088 | 45,471 | 44,756 | 44,185 | 45,336 | 46,740 |
| 合計 | 70,554 | 70,924 | 70,649 | 70,532 | 71,815 | 74,752 |

・ 図書館運営費総額(折れ線グラフ)

単位:百万円

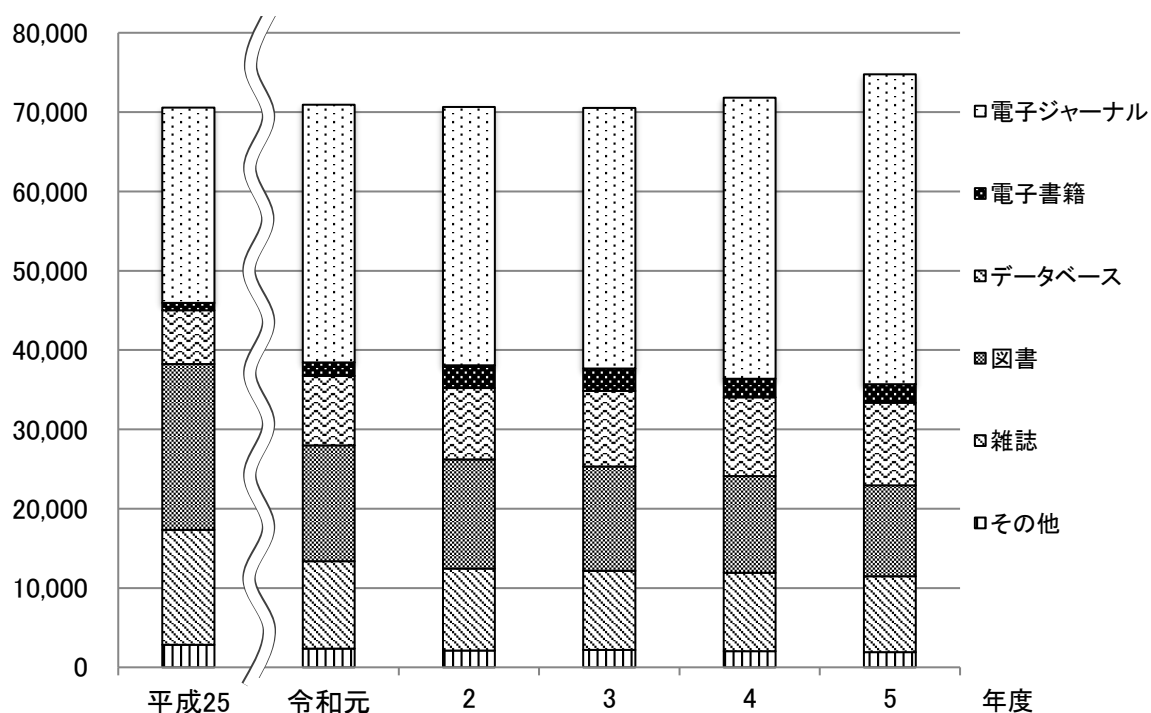
| 年度 | 平成25 | 令和元 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 国立大学 | 18,400 | 17,345 | 16,758 | 17,113 | 17,228 | 18,386 |
| 公立大学 | 4,302 | 4,218 | 3,967 | 4,255 | 4,618 | 4,949 |
| 私立大学 | 57,744 | 52,810 | 55,863 | 55,142 | 52,705 | 53,145 |
| 合計 | 80,445 | 74,373 | 76,588 | 76,510 | 74,551 | 76,480 |

2. 図書館資料費の内訳(令和5年度決算額)

- 令和5年度の図書館資料費のうち、紙媒体の資料(図書と雑誌の合計)に係る経費は210億円であり、前年度より11億円(4.8%)減少した。
- 電子媒体の資料(電子ジャーナルと電子書籍の合計)に係る経費は414億円であり、前年度より36億円(9.5%)増加した。

・ 図書館資料費の内訳及び推移

単位:百万円



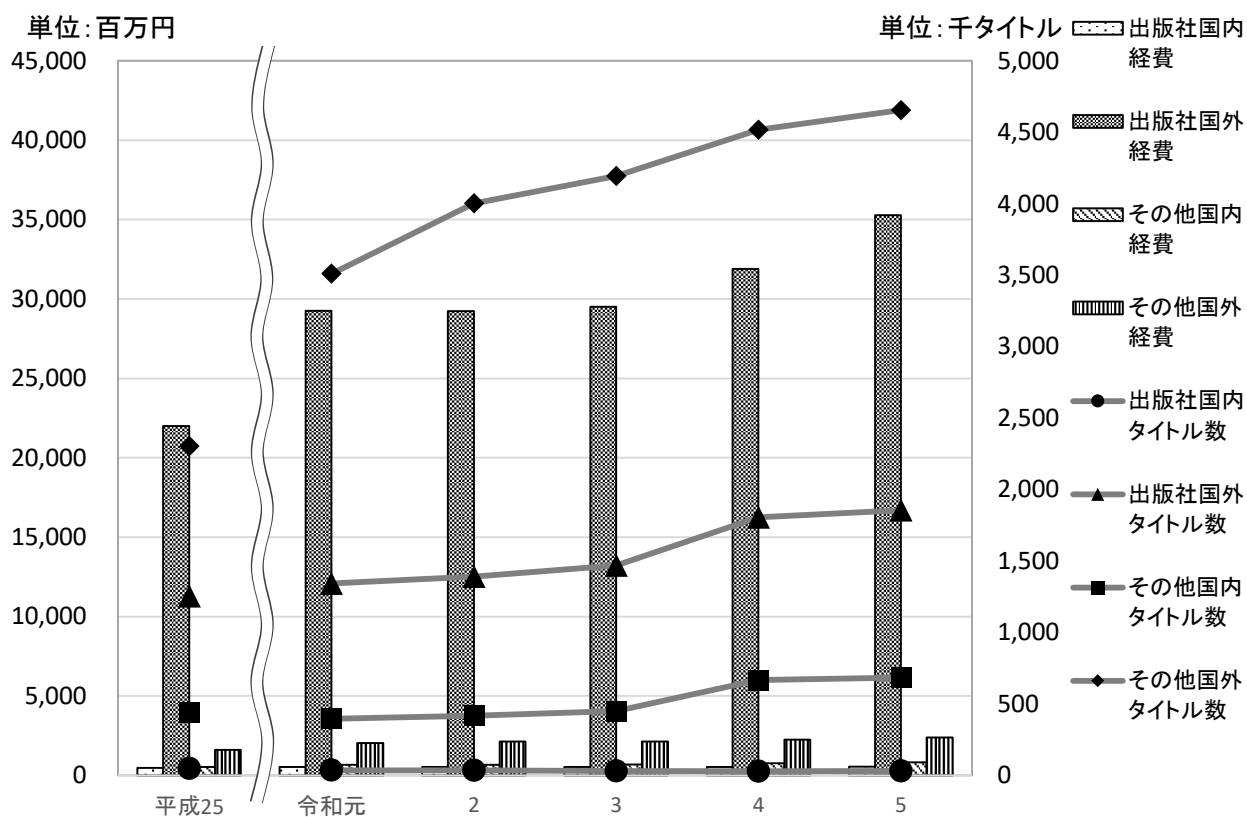
単位:百万円

| 年度 | 平成25 | 令和元 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 電子ジャーナル | 24,596 34.9% | 32,495 45.8% | 32,565 46.1% | 32,856 46.6% | 35,438 49.3% | 39,039 52.2% |
| 電子書籍 | 944 1.3% | 1,687 2.4% | 2,855 4.0% | 2,843 4.0% | 2,354 3.3% | 2,359 3.2% |
| データベース | 6,788 9.6% | 8,756 12.3% | 9,035 12.8% | 9,498 13.5% | 9,929 13.8% | 10,397 13.9% |
| 図書 | 20,910 29.6% | 14,608 20.6% | 13,731 19.4% | 13,158 18.7% | 12,183 17.0% | 11,481 15.4% |
| 雑誌 | 14,479 20.5% | 11,002 15.5% | 10,358 14.7% | 9,978 14.1% | 9,893 13.8% | 9,546 12.8% |
| その他 | 2,837 4.0% | 2,377 3.4% | 2,103 3.0% | 2,200 3.1% | 2,019 2.8% | 1,929 2.6% |
| 合計 | 70,554 100% | 70,924 100% | 70,649 100% | 70,532 100% | 71,815 100% | 74,752 100% |

3. 電子ジャーナル経費と利用可能タイトル数(令和5年度実績)

- 令和5年度の電子ジャーナルに係る経費は390億円であり、前年度より36億円(10.2%)増加した。
- 大学図書館で閲覧可能な国外の出版社から購入した電子ジャーナルタイトル数は186万タイトルであり、前年度より5万タイトル(2.8%)増加した。アグリゲータ(複数の出版社が刊行する電子ジャーナルをまとめて提供する仲介者)をはじめとした、国外における出版社以外(その他 国外)から購入した電子ジャーナルタイトル数は466万タイトルであり、前年度より14万タイトル(3.0%)増加した。

・電子ジャーナル経費と利用可能タイトル数の推移



・電子ジャーナル経費(棒グラフ)

単位: 百万円

| 年度 | 平成25 | 令和元 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 出版社 国内 | 465 | 530 | 528 | 530 | 534 | 555 |
| 出版社 国外 | 21,996 | 29,262 | 29,241 | 29,500 | 31,890 | 35,277 |
| その他 国内 | 522 | 661 | 668 | 686 | 769 | 828 |
| その他 国外 | 1,613 | 2,041 | 2,128 | 2,139 | 2,246 | 2,380 |
| 合計 | 24,596 | 32,495 | 32,564 | 32,856 | 35,439 | 39,039 |

・電子ジャーナルタイトル数(折れ線グラフ)

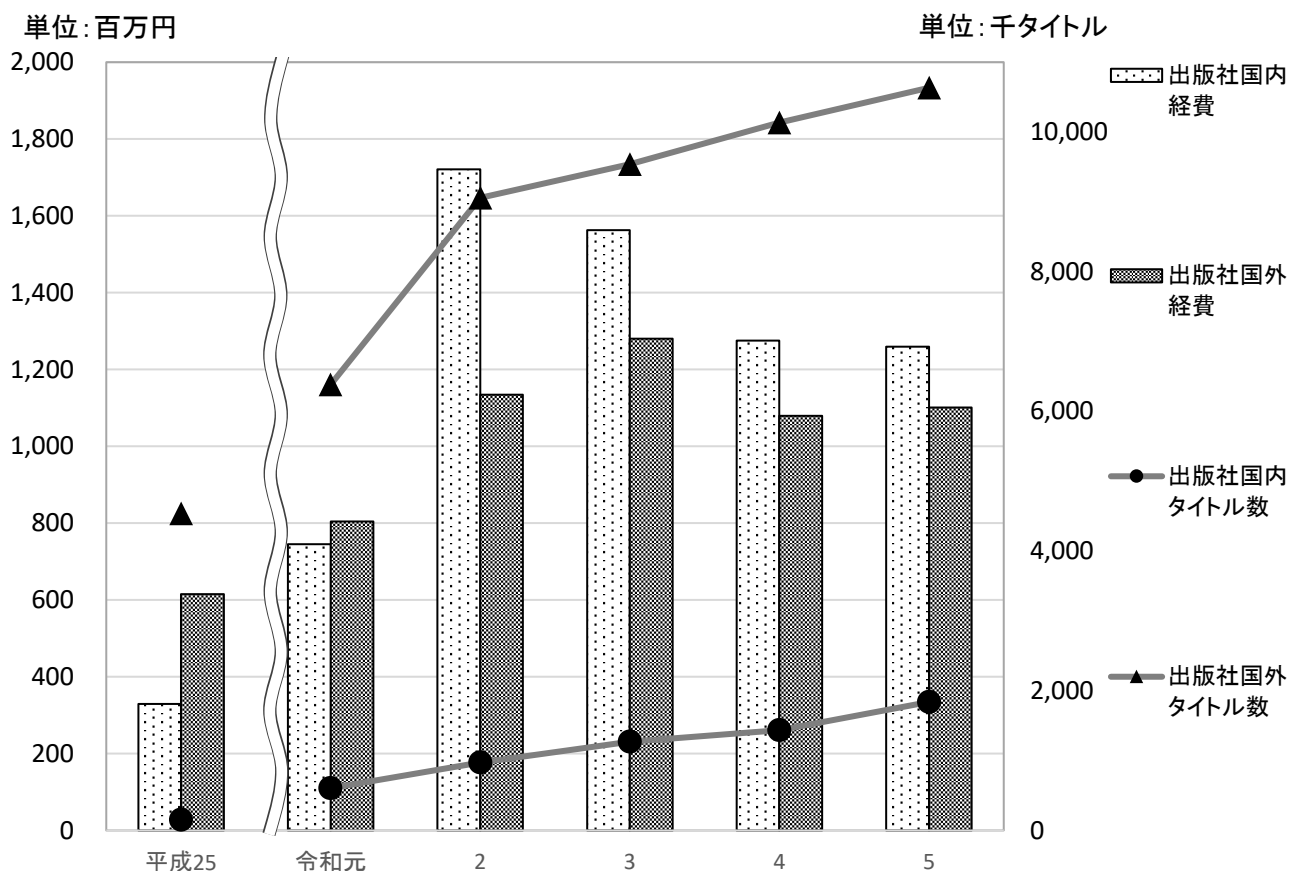
単位: 千タイトル

| 年度 | 平成25 | 令和元 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 出版社 国内 | 49 | 35 | 35 | 31 | 29 | 31 |
| 出版社 国外 | 1,254 | 1,342 | 1,390 | 1,469 | 1,805 | 1,855 |
| その他 国内 | 439 | 396 | 418 | 449 | 667 | 684 |
| その他 国外 | 2,304 | 3,510 | 4,003 | 4,194 | 4,518 | 4,655 |
| 合計 | 4,046 | 5,282 | 5,847 | 6,141 | 7,019 | 7,225 |

4. 電子書籍経費と利用可能タイトル数(令和5年度実績)

- 令和5年度の電子書籍に係る経費は24億円であり、前年度と同等(0.3%増加)であった。
- 大学図書館で閲覧可能な電子書籍のタイトル数は1,247万タイトルであり、前年度より90万タイトル(7.8%)増加した。そのうち、国内の出版社から購入した電子書籍タイトル数は184万タイトルであり、前年度より40万タイトル(28.1%)増加した。また、国外の出版社から購入した電子書籍タイトル数は1,063万タイトルであり、前年度より50万タイトル(4.9%)増加した。

・電子書籍経費と利用可能タイトル数の推移



・電子書籍経費(棒グラフ)

単位:百万円

| 年度 | 平成25 | 令和元 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 出版社 国内 | 329 | 745 | 1,721 | 1,563 | 1,275 | 1,259 |
| 出版社 国外 | 615 | 804 | 1,134 | 1,280 | 1,079 | 1,101 |
| 合計 | 944 | 1,549 | 2,855 | 2,843 | 2,354 | 2,359 |

・電子書籍タイトル数(折れ線グラフ)

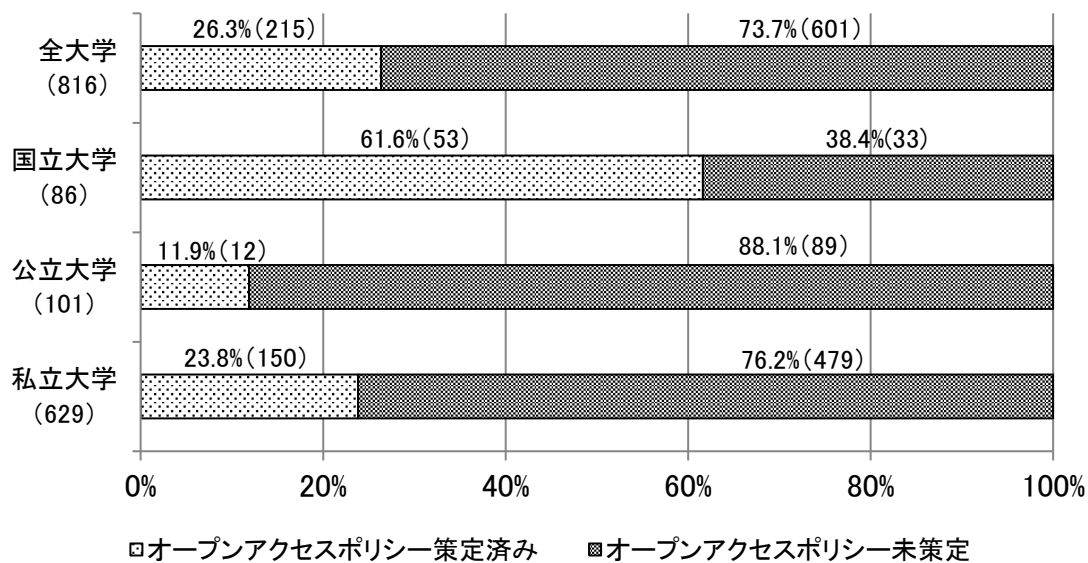
単位:千タイトル

| 年度 | 平成25 | 令和元 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 出版社 国内 | 154 | 604 | 974 | 1,272 | 1,436 | 1,839 |
| 出版社 国外 | 4,537 | 6,385 | 9,056 | 9,539 | 10,134 | 10,634 |
| 合計 | 4,691 | 6,989 | 10,030 | 10,811 | 11,570 | 12,472 |

5. オープンアクセスポリシーの策定状況(令和6年5月1日現在)

○ 調査対象全816大学のうち、オープンアクセスポリシー(自大学の研究成果等のコンテンツを、オープンアクセスにすることについて定め、明文化した方針)を策定している大学は215大学(26.3%)であった。

・オープンアクセスポリシーの策定状況(国公立私立大学別)



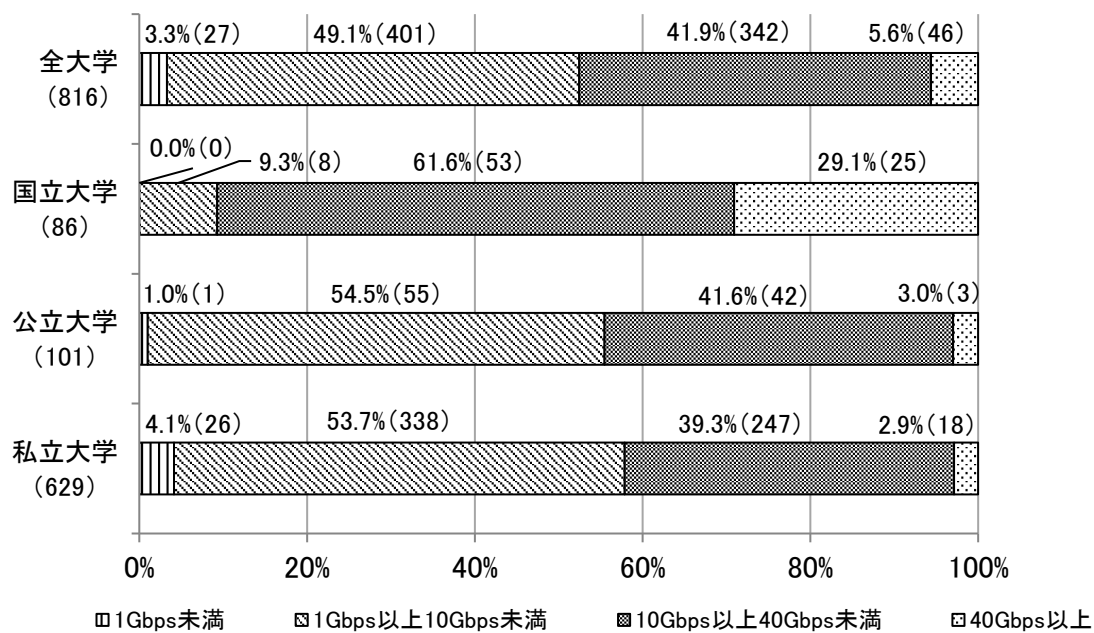
※ ()内は大学数

《コンピュータ及びネットワーク編》

1. 学内ネットワーク(学内LAN)の整備(令和6年5月1日現在)

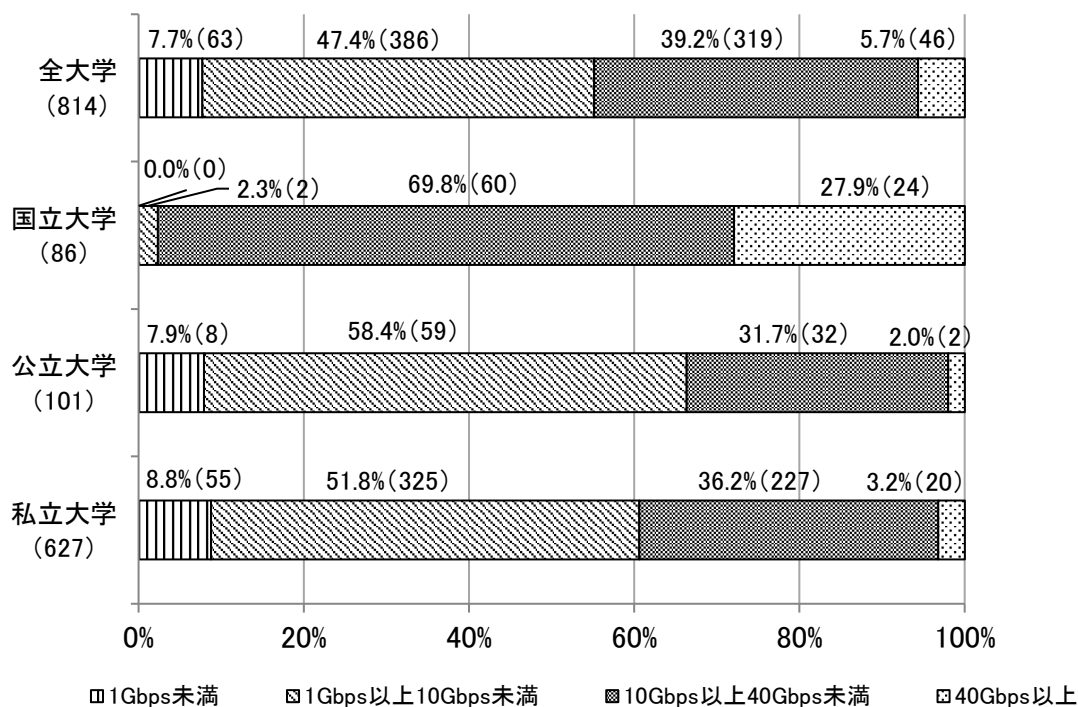
- 学内ネットワーク(学内LAN)を有する816大学のうち、通信速度10Gbps以上の回線を整備している大学は388大学(47.5%)である。
- 対外接続を行っている814大学のうち、通信速度10Gbps以上の回線を整備している大学は365大学(44.8%)である。

・学内ネットワークの通信速度(国公私立大学別)



※ ()内は大学数

・対外接続の通信速度(国公私立大学別)

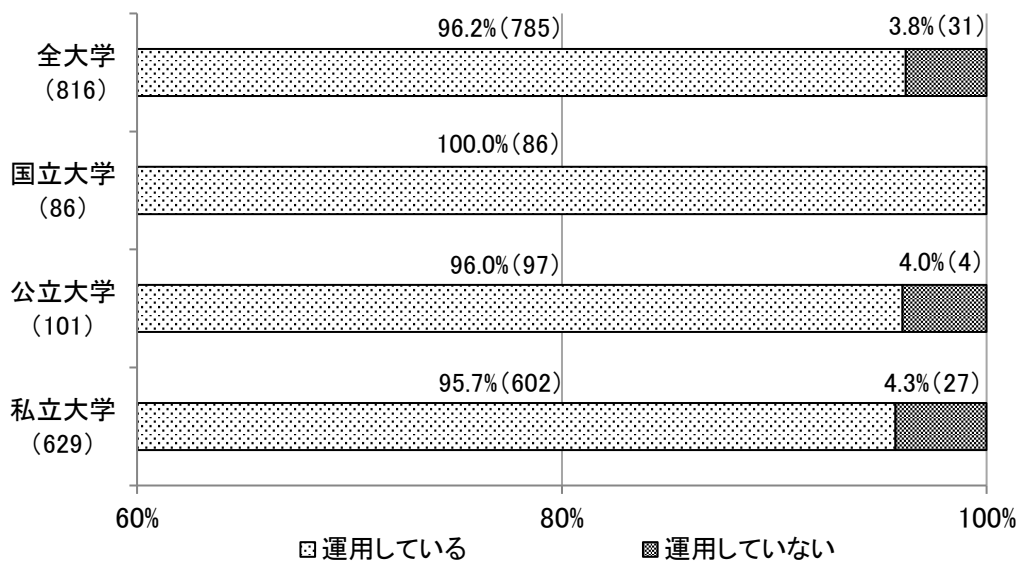


※ ()内は大学数

2. クラウドの運用状況(令和6年5月1日現在)

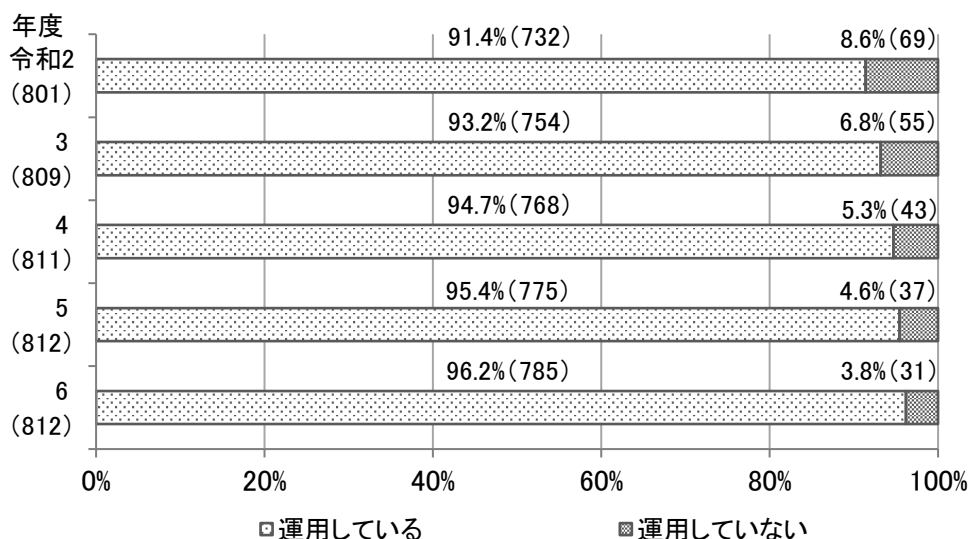
- 情報システムをクラウド化(全部または一部を学内の情報センター等または学外の施設に集約・共有化し、効率的に運用)している大学は785大学(96.2%)であり、前年度より0.8ポイント上昇している。
- 用途としては管理運営基盤が最も多く、クラウド導入大学のうち758大学(96.6%)がこの用途で利用している。

・クラウドの運用状況(国公立大学別)



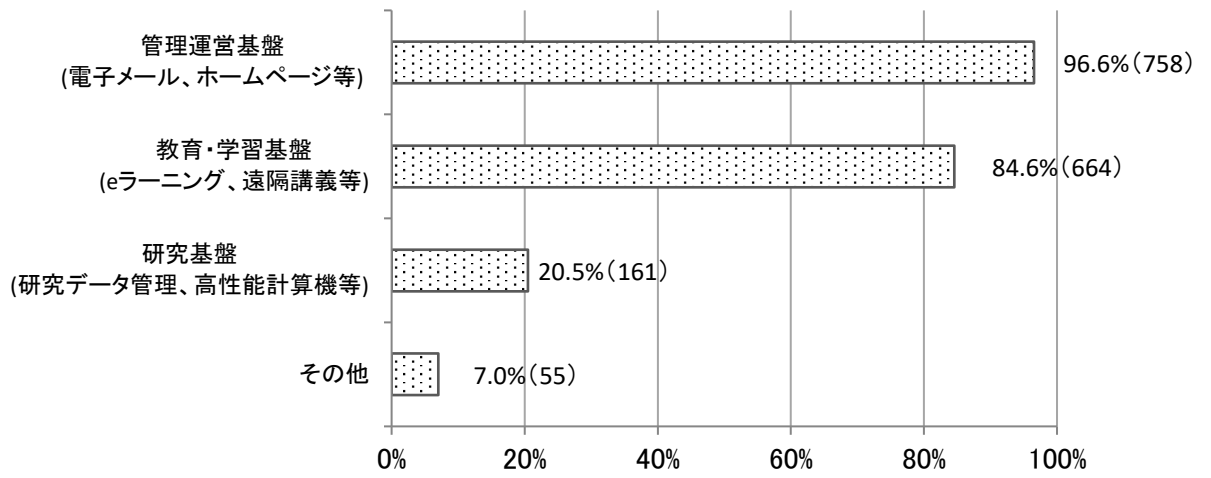
※ ()内は大学数

参考



※ ()内は大学数

・用途

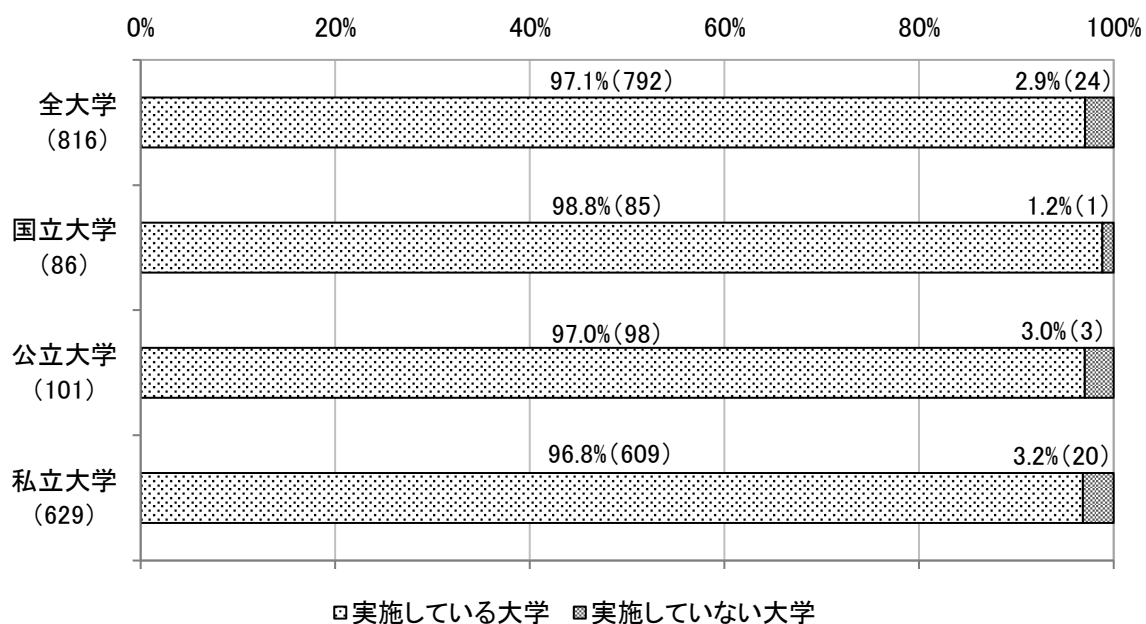


※ ()内は大学数

3. 情報リテラシー教育の状況(令和5年度実績)

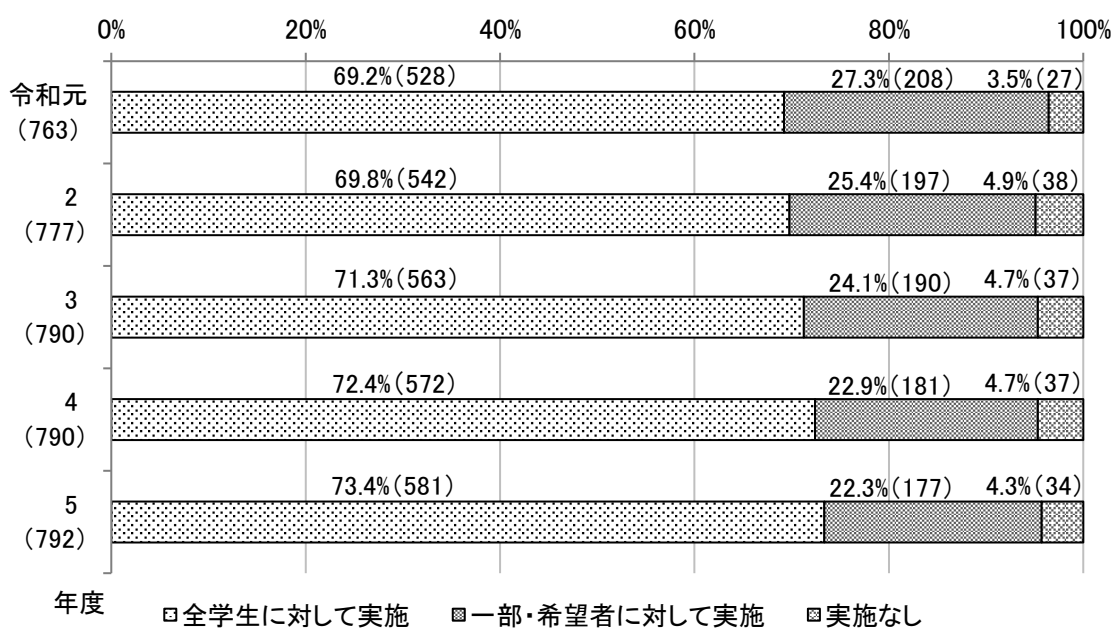
- 情報リテラシー教育を実施している大学は792大学(97.1%)であった。
- 全学生を対象に実施している大学において、「情報セキュリティ」、「倫理・マナー」を取り上げている大学は、それぞれ581大学(73.4%)、600大学(75.8%)であり、令和元年度と比べてそれぞれ4.2ポイント、3.2ポイント上昇している。

・情報リテラシー教育の実施割合



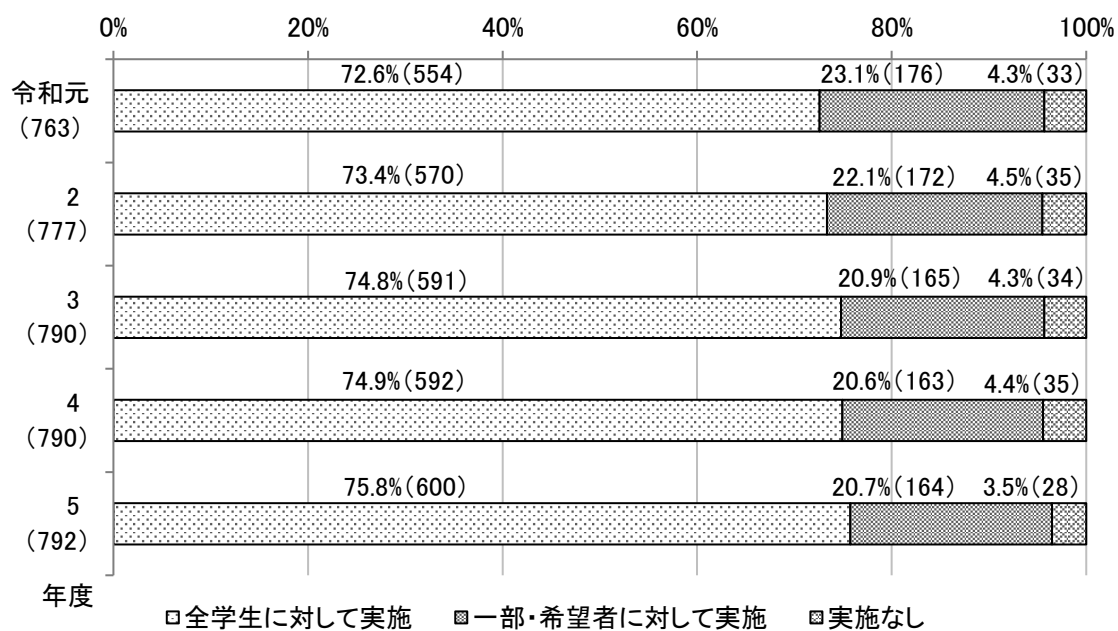
※ ()内は大学数

・「情報セキュリティ教育」の実施割合



※ ()内は大学数

・「倫理・マナー教育」の実施割合

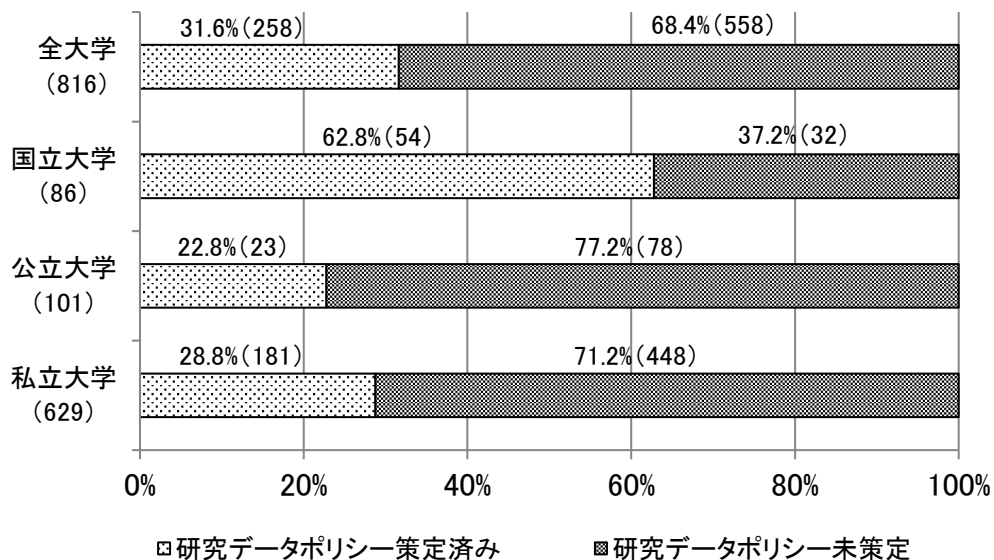


※ ()内は大学数

4. 研究データポリシーの策定状況(令和6年5月1日現在)

○ 研究データポリシー(研究データの管理と利活用について、組織として策定した方針)策定済みの大学は 258大学(31.6%)であった。

・ 研究データポリシーの策定状況 (国公立大学別)



※ ()内は大学数